

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス よよぎ松山校			
○保護者評価実施期間	R6年10月10日		～	R6年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	R6年10月10日		～	R6年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員の配置があり、多角的に支援方法を検討することができる	朝礼時に職員が集まり、利用者の情報共有をおこなっています。また月に一度の職員会議では、利用者の特性に応じたプログラムの検討、課題の解決に向けた取り組みについてさまざまな職種から検討を行っています。	指導員自身がより積極的に知識を深める、研修等に参加する、指導員同士が支援について相談し合える時間の確保、環境整備等についても今後見直しをおこない、より充実した支援に繋がるよう改善する。
2	個別の支援内容について その都度その日の体調や出来事に応じて 臨機応変に設定することができる	利用者の方へ個別で日ごとに違うプログラムを用意しており、その日の体調や、モチベーションに応じて内容を変更することや、利用者が好んでいる内容や、興味関心のある事柄に結び付けることで意欲を持って取り組めるよう配慮しています。	指導員同士や、また外部研修等を通して、さまざまな支援の方法について常に模索し、情報収集に努める。また利用者にとって一番最適の支援の在り方について追求する姿勢をより一層高めていく。
3	学校や学童、障害福祉センターや、併用先の他事業所や相談支援事業所等との連携をこまめに行っており、必要に応じて	利用者の方にとって必要な支援を検討する機会を提案、提供することや、双方に課題解決に向けて報告、相談をおこなう事で、より連携を深めた利用者の生活全体的な支援を行えるよう努めています。	連携の方法について電話、面談等だけでなく、よりスムーズに情報交換できるよう努めることや、保護者の方や利用者の方の意向を一緒に共有しながら進められるよう努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段が急であり、エレベーターがない	ビルの一室を借りて行っていることもあり、階段やエレベーターの設置に関することはビル全体に必要な工事となる為、当事業所として設備を変える事が難しい	階段の昇降については、かならず指導員が転倒防止の為に階段下側について昇降する。危険要因となるものがないか(落下物や雨天時の水濡れ等)を開所時に確認し、安全の確保に努めている。今後も継続して取り組む必要がある
2	支援の様子について個別での情報発信が少ない	日々の支援内容については、月に一度まとめて支援経過を配布し、半年に一度の面談時に対面でお伝えする形を取っているが、タイムリーにその日の様子を全利用者へ伝える時間の確保が難しい。(早急な伝達を要する事についてはその日に伝達している。)	集団での活動の様子等を配信しているInstagramや、OfficialLINEでのお知らせを活用して、情報発信の回数を増やしていくことを検討する
3			